

# まちづくりに関する調査・研究



一般社団法人豊岡青年会議所 2021年度  
とよおかの未来創造委員会

## 目次

第1章 はじめに

第2章 調査(現状)

第3章 T y o o k a M i r a i M a r k e t の 検 証

第4章 未来へ向けての提言

第5章 おわりに

## 第 1 章 はじめに

少子高齢化と人口減少の進展に伴う地域経済の縮小や地域コミュニティ機能の低下が危惧される中、若者の県外流出が大きな課題となっています。豊岡市の場合も 15 歳～24 歳においては、大幅な転出超過となっています。また、豊岡市の若者回復率は 39.5% となっており、その一因として、同世代の若者の交流や活躍出来る環境や機会が少ないことが地域の課題と考えられます。笑顔溢れる持続可能なまち豊岡を実現するためには、まちの将来を担う若者が住み暮らすまちの未来を想い、主体的にまちづくりに参画する事が重要です。そのためには、1 人でも多くの若者がこのまちで自分が思い描いている夢を実現する機会に恵まれ、より多くの人々と交流することで、このまちでの暮らしに魅力と価値を感じる事が大切だと考えます。

創立 60 周年特別事業において、若者ととも自己実現に近づくための一助を果たす機会や交流の場を創出することで、新たな魅力と価値を生み出し、様々な地域課題の解決に向けて市民が能動的に行動する様、意識改革を促すべきだと考えます。そして、行政や市民に新たな魅力と価値を調査・研究を通して広く伝えることで、笑顔溢れる持続可能なまち豊岡へ繋がると考え、一年間の活動をしてきたことをまちづくりに関する調査・研究にまとめ報告させていただきます。

## 第2章 調査

### (1) 社会情勢

現在、わが国では、急速に人口減少や少子高齢化が進んでいます。今後は社会保障費の増大、生産年齢人口の減少による経済の縮小、地域コミュニティの担い手不足など社会全体の活力に影響を与えることが懸念されています。豊岡市はこれまで、人口減少や少子高齢化等、地域における生活環境や生活様式の変化により地域課題が、ますます複雑、多様化していくことが予想されます。豊岡市ではこれまで、人口減少のスピードを和らげるとともにその対策を通じて、なお進む人口減少下にあっても地域活力を維持できるよう、豊岡市地方創生総合戦略を策定して推進しています。今後、社会情勢の変化などから、市民ニーズの多様化・高度化により、地域課題はますます多様化し複雑化されていきます。

このような課題に対しては、行政のみならず市民も共に解決の道筋を考えていく必要があります。豊岡のまちづくりを実践する市民、団体、企業、大学、地域、行政等といった多様な主体が連携し、異なる視点で意見を出し合い、新たなまちの魅力や地域の価値を共に創り上げていくため、市民がより主体的にまちづくりを行えるよう、「共創」の取り組みを行う必要があると考えています。

つまり、市民、一個人や行政だけでなく、多様な担い手が共創しながら、みんなでまちづくりを行っていく必要があります。その中でも、若者を中心とした共創により、地域の活性化や持続可能性に繋がると考えました。

### (2) 豊岡市の現状（若者回復率について）

下記図1、図2のグラフより人口減少が減り続ける要因としてまず若者の転出超過が挙げられます。年齢階層ごとの転入・転出の状況を見ると、

高校卒業時を中心に10代で大幅な「転出超過」（転入より転出の方が多い状態）となる一方、専門学校・大学卒業後の20代で「転入超過」（転出より転入の方が多い状態）となっています。しかし、20代の転出超過の方が20代の転入超過を大幅に上回っているため、若者が減少しています（10代で失われた人口の20代での回復率はわずか35%）。その他の年齢階層では社会減はほとんどおきていません。）

また若者の未婚率の上昇が要因として挙げられます。「転出超過」による若者の減少に加え、結婚していない男女の「未婚率が上昇」しており、結果として、出産適齢期の夫婦の数が減少し、出生数も低下します。25年間のデータでは、夫婦1組あたりの子どもの数は増える傾向にあります。しかし、夫婦の数のものの減少の方が大きく、生まれてくる子どもの絶対数が減っています。

この2つの要因から減少した子どもたちが成長して大学等に進む段階で、また大幅な「転出超過」になるという悪循環によって、豊岡の人口は減少していくと見込まれています。

若者は豊岡を去り、帰ってきません。理由としては、「地方は貧しく、つまらない」という非常に強いイメージが、若者を含め多くの人々を閉じ込めていると考察されています。

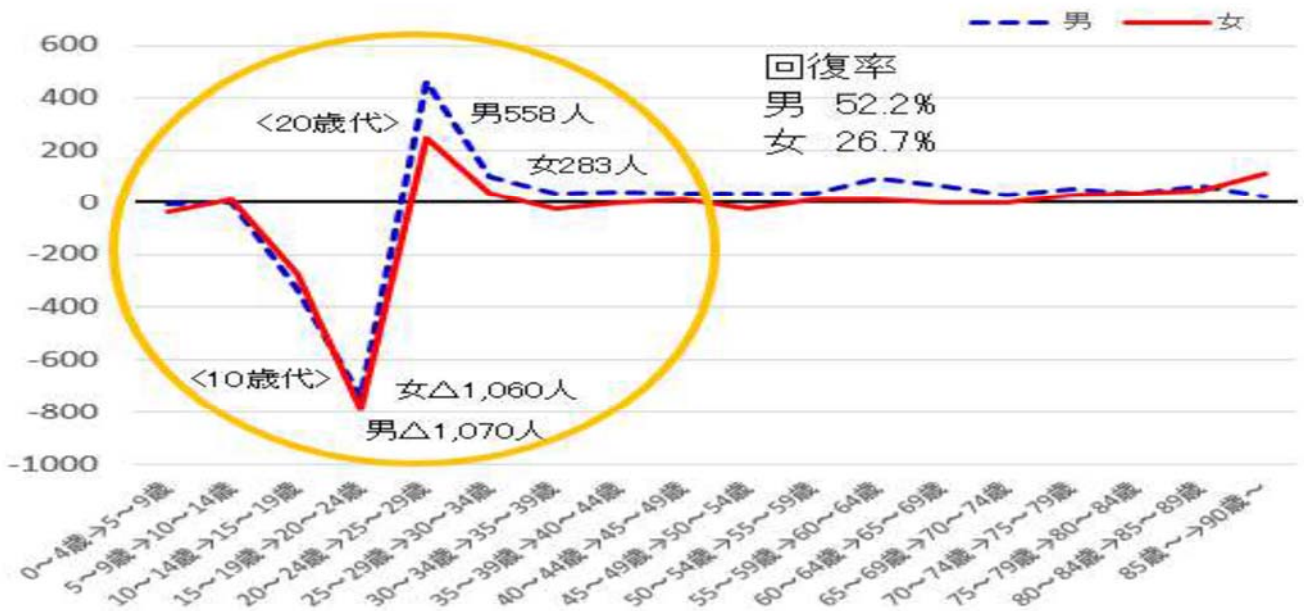
「豊岡は貧しく、つまらない」というのは一面の真実でしかありません。豊岡には、大都市とは異なる豊かさがあり、やりがいのある仕事があり、楽しさもあります。そのことを若者に訴え、さらにその実を強めていかなければなりません。

「豊岡には、大都市とは別の価値観に基づく豊かな暮らしとやりがいのある仕事がある」と考え、豊岡で暮らし働く若者を増やすことで人口減少の緩和（量的緩和）につながることはもちろん、地域社会・地域経済・地域文化のあり様と豊岡の人々の自己イメージを変え（質的転換）、新たな地域活力への創造へとつながります。

(豊岡市の地方創生 人口減少対策より)

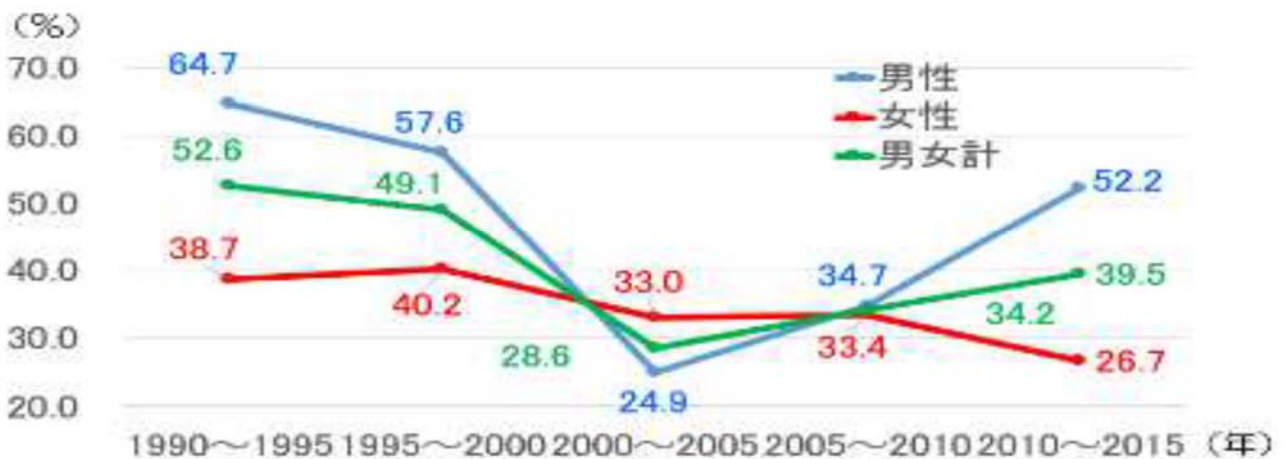
【図1】若者回復率（2010～2015年）

若者回復率：10歳代の転出超過数に対して20歳代の転入超過者数が占める割合。



（出典：中嶋圭介氏（神戸市外国語大学准教授）の資料をもとに作成）

【図2】若者回復率の推移



（出典：国勢調査）

豊岡市は、人口減少のスピードを極力和らげるとともに、その対策を通じて、なお進む人口減少下にあっても地域活力を維持できるよう、第2期「豊岡市地方創生総合戦略」を策定し、実行することとしています。

- (1) 豊岡に住む人々が「豊岡で暮らすことの価値と魅力」を改めて探り、認識する。
- (2) その価値と魅力をさらに高める。特に、これまで進めてきた「小さな世界都市-Local & Global City-」=「ローカルであること、地域固有であることを通じて、世界の人々から尊敬され、尊重されるまち」の実現に向けた取組みを加速し、世界と直接に結ばれる中で豊岡の価値と魅力をさらに高める。
- (3) 豊岡で暮らすことの価値と魅力を若者や子どもたちに伝え、移住・定住を促し、共感して移住・定住をする若者を増やす。
- (4) 特に、若い女性を増やす対策を進める。
- (5) 以上の取組みによって「人口減少の量的緩和と地域社会・地域経済・地域文化のあり様の質的転換」を同時に図り、豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに自信と誇りを持って住む人々からなるまちとして豊岡を蘇えらせ、地域活力の維持を図る。

（第2期豊岡市地方創生総合戦略より）

下記の図3の表より年齢が低くなるに伴い、割合が低くなっている。若者と共創する取り組みが必要だと感じました。また今後のまちづくりの意見として、若者が住み続けたいまちにするには10代～20代の若者に魅力と価値を感じてもらわなければならないと考えます。

【図3】

	調査数	市内に住み続けたい	これからの豊岡	戻りたい	いつか離れるかも	居るかも	現在、一時的に居住しているため、市外へ転居したい	市外に転居したい	わからない	無回答			
全体	1226	945	77.1	39	3.2	29	2.4	71	5.8	106	8.6	36	2.9
18～19歳	11	3	27.3	5	45.5	1	9.1	1	9.1	1	9.1	0	0.0
20～29歳	69	24	34.8	16	23.2	6	8.7	12	17.4	9	13.0	2	2.9
30～39歳	98	60	61.2	5	5.1	7	7.1	14	14.3	11	11.2	1	1.0
40～49歳	162	105	64.8	6	3.7	5	3.1	13	8.0	33	20.4	0	0.0
50～59歳	186	155	83.3	2	1.1	3	1.6	5	2.7	17	9.1	4	2.2
60～69歳	314	260	82.8	3	1.0	4	1.3	15	4.8	25	8.0	7	2.2
70歳以上	369	328	88.9	2	0.5	1	0.3	9	2.4	10	2.7	19	5.1

(第2次豊岡市総合計画策定に係るまちづくり市民アンケート 平成28年9月より)

### (3)他の地域の若者と共創するまちづくり活動事例の調査

【内容】下記の事例1～4より、まちの将来を担う若者が住み暮らすまちの未来を想い、大人と若者が主体的にまちづくりに参画する事が必要だと感じました。そしてより多くの人々と交流することで、このまちでの暮らしに魅力と価値を感じる事が大切だと考えます。そのためには我々が事業を通じて若者と共創するまちづくりを育むべきだと考えました。また図6の表より、1人でも多くの若者が豊岡市で自己実現に近づくための一助を果たす機会に恵まれる事が重要だと考えました。

#### 【事例1】 若者との連携による地域づくり (山形県米沢市)

米沢市新総合計画では、地域の将来像を「ひとが輝き創造し続ける学園都市・米沢」とし、人づくり(人の連携・人の定住・人の育成)を中心とした地域づくりを推進しながら、住民一人一人が魅力・愛着を感じる地域を目指している。

地域課題として、地域づくりに関心のある若者と無関心の若者との温度差、地域活動している団体同士の連携(特に、世代や活動分野を超えた地域活動の連携)に取り組んでいる。例えば米沢青年会議所の入会や、学生プロジェクトチームの立ち上げ等が上げられる。

この活動として言えるのは、団体等に所属していない若者(学生も含め)の地域活動のきっかけづくりや世代を超えたネットワークづくり、若者主体の活動を促進させる環境づくりを目的としており、SNSでそれぞれの活動を発信、経過報告することで、お互い「刺激・気づき・学び」が生まれ、継続的な地域活動・人材育成の「原動力」になっている。

## 【事例2】 若者会議によるまちづくり（新潟県燕市）

若者の声をまちづくりに生かすため、若者が参加しやすく、主体性を持てる新しいまちづくりのプロジェクとして、つばめ若者会議を立ち上げた。

つばめ若者会議は、「若者自らが暮らし、そして子どもたちに引き継ぎたい20年後の燕市はどんな町が良いか」を語り合い、その実現のために行動していく若者によるまちづくりの場であり、理想とする20年後の燕市の将来像・未来ビジョンとビジョンを実現するための行動計画・アクションプランの策定を議論している。

この活動として言えるのは、高校から40歳までの若者が集い、若者が主体となって理想とする燕市の将来像を実現するアイデアを考える等、若者のまちづくりの意識の醸成が図られた。また若者同士の交流により、繋がりを強化された。

## 【事例3】 大学を核としたまちづくり（石川県金沢市）

学生のまち推進条例に基づき、「学生がまちを学びの場または交流の場としながら、まちなかに集い、市民と親しく交流し、地域における活動等に取り組むほか、市民、町会等、高等教育機関、事業者及び市が一体となって学生の地域における生活、自主的な活動等を支援することにより、学生と市民との相互の交流及び学生とまちとの関係を深め、にぎわいと活力が創出されるまちをつくろう」と様々な活動を展開している。

この活動として言えるのは、学生団体が独自のテーマを掲げて社会課題やにぎわい創出等に積極的な活動を行っており、住民と学生との出会い、人と人との交流を生み、若い感性が加わる事で創発に繋がり、地域課題の解決に取り組む能動的な地域人、地域コミュニティの構築を強化され、市民と共に学生を育み、学生とともにまちづくりを行う事で地域の未来を担う人材育成にも繋げている。

## 【事例4】 若者の地域参画推進の取組（山口県周南市）

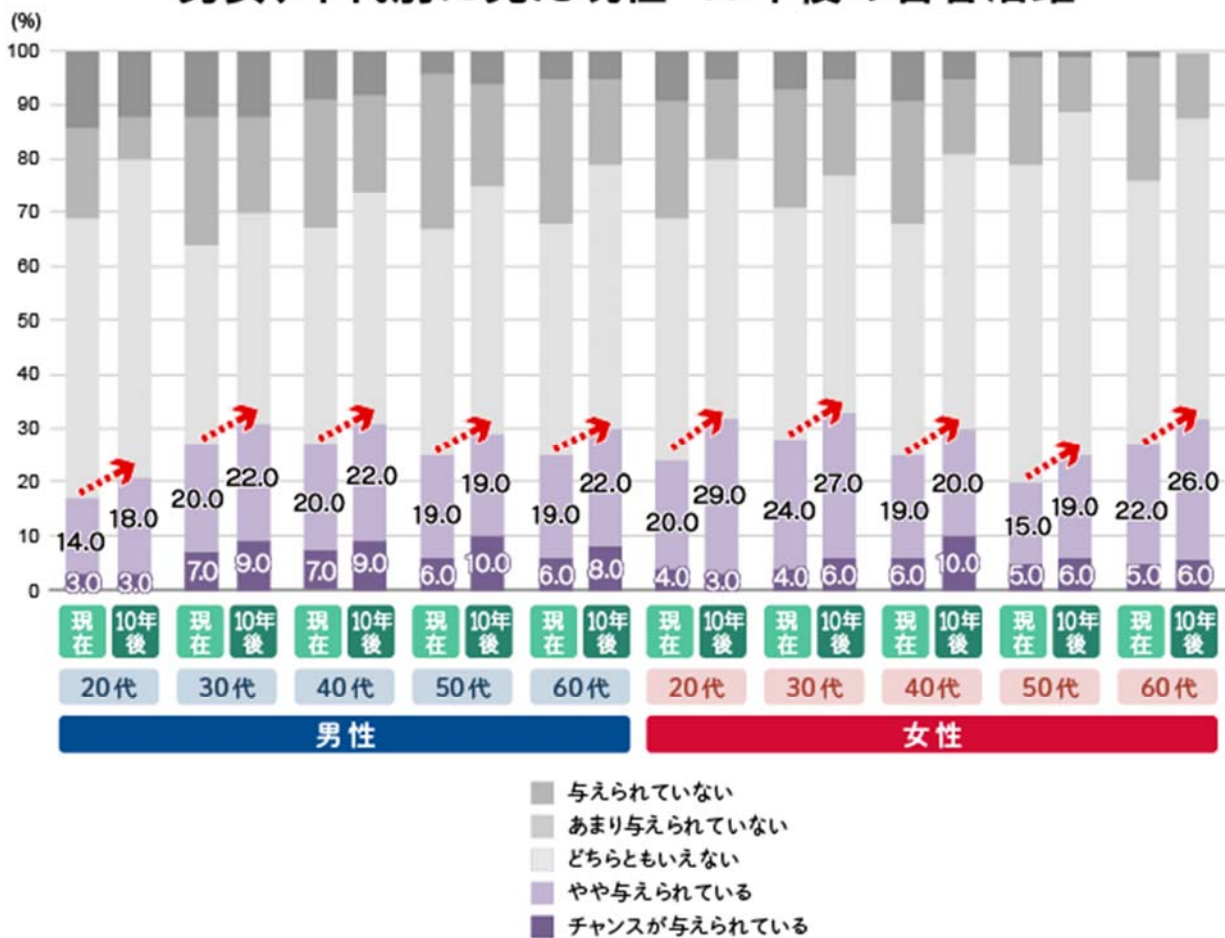
小学校区単位の31地区が、それぞれでまちづくり団体（コミュニティ推進組織）を組織し、特色ある地域づくり活動を行っている。周南市では平成27年度に「第2次まちづくり総合計画」を策定し「無限の市民力と最大限の行政力を結集し周南の価値を高めるまちづくり」を基本理念として掲げ、「共に。」をテーマに共創のまちづくりを推進することとしている。

この活動として言えるのは、地域コミュニティの課題である若い世代の地域参画、次世代の育成の支援を目的に、若者が楽しみながら活動できるための土壌づくりを目的として事業を行った事で、多くの仲間に出会うことができ、SNSなどで常に刺激を受けている。出会った仲間の存在が、情報の広がりやモチベーションの向上に繋がった。

下記の図4の表は、全国的に見ても男女年代別に現在・10年後を見たものです。男女どの年代も若者が活躍する機会が10年後に与えられていると考える人はおおむね20～30%前後にとどまっており、将来に対する期待度はあまり高いものではありません。少子高齢化が進む日本の中で、将来を担うのは今も昔も若者たちです。新しいアイデアや革新的なイノベーションの発案の多くが若者によってなされることは疑いようのない事実です。かつて、ベビーブーマーが若者であった時代は、大きな価値観の変革時であったこともあり、若者起点の文化が数多く生まれました。若者自身が現在も、将来も活躍できる機会が少ないと感じてしまっている世の中のあり方は決して望ましいものではありません。より、若者が活躍できる機会やチャンスが豊富にあると感じられる社会づくりが、最も求められている要件であるといっています。

【図4】

### 男女、年代別に見た現在・10年後の若者活躍



出典(「生活者が考える2028年の未来調査」2018年6月インターネット調査)  
<https://dentsu-ho.com/articles/6369>



### 第3章 ToyookaMiraiMarketの検証

#### (1)開催趣旨

笑顔溢れる持続可能なまち豊岡を実現するためには、人と人の繋がりを広げ、まちの将来を担う我々と若者が住み暮らすまちの未来を想い、共創してまちづくりに参画する事が必要です。

この事業では地域で活躍したいという若者が集い、豊岡やそれに関係する魅力の詰まったお店、コンテンツを集結させ、来場した市民の方へ発信し、人と人を繋ぎ合わせ更に活性化していきました。若者が輝く姿を市民に発信し、市民が豊岡の明るい未来を思い描き、笑顔になる事で持続可能な豊岡の未来への第一歩とし、市民全体のまちづくりに対する参画意識の醸成を図りました。

事業名称 ToyookaMiraiMarket  
日 時 2021年7月11日(日) 10時00分~16時00分  
場 所 全但バス但馬ドーム (兵庫県豊岡市日高町名色88-50)

#### (2)事業の目的

若者の自己実現に近づくための一助を果たす機会の創出  
市民と若者のまちづくりへの協調意識、参画意識の高揚  
若者と市民の繋がりを深め、豊岡の未来に希望を持ってもらうきっかけとする

地域の若者と市民、団体、企業、大学、地域、行政等市民を巻き込んだ事業が必要

当日の事業では若者と共創し考えた、豊岡やそれに関係する魅力の詰まったお店、コンテンツを集結させ発信する「但馬ドームで開催される大型フェスという場で自分ができることと、他の人ができることを共有しアイデアを出し合うことで若者の自己実現に近づくための一助を果たす機会にし、相乗効果を生み、新たな魅力と価値が生まれ、共に気運を高めまちの未来を思い描くことができる」

#### (3)検証

若者と共創するための取り組み

##### ( )若者ミーティング開催

【内容】地域の若者に今後のまちづくりの事業には若者の力が大切だという事を理解していただき、J Cと若者との想いを1つにし、共創と参画意識をもって事業を行うために互いの交流を図る。またお互いの事を知り事業に向けた協力体制をつくる。

【考察】趣旨説明では今後のまちづくり事業をする上で若者が元気に輝いている姿を市民の方へ発信する事が大切だという事を説明させていただいた。自己紹介では若者の皆様と青年会議所メンバーのお互いの事を知ることができ、繋がりを持つ機会となり、意見が交わされお互いの活動に刺激を受け、事業に向けての士気を高めることができた。

グループワークでは4グループに分かれ、事業に出店(展)していただけるお店やコンテンツ等の意見を言ってもらう事で、知らなかった豊岡のお店やサービスを知る機会となった。若者達の中にも自分達がやっているお店やサービスがあり、自分達が出来事を見つけ、活躍する場を見出せた。事業に向けてまちづくりの参画意識の高揚に繋げることが出来たと感じた。

##### ( )3月講演会

【内容】持続可能なまちづくりを進め、数多くの実践を重ねてこられた佐伯亮太氏をお招きし、様々な地域課題に対してのアプローチ方法や若者とともに共創する地域活性化のアイデア等、最新のまちづくりの内容をご講演いただくことにより、メンバーと若者のまちづくりに対する知識と意識の向上を図る。

【考察】講演会では、予測される人口減少を見据えた参加型のまちづくり事例を数多くご紹介していただき、まちづくりの良いスパイラルを起こすための手法、最新のまちづくりの成功事例を佐伯先生に話していただいた。豊岡の未来に向けて、我々と地域の若者が真剣にまちづくりについて学び、気づくことで、知識と意識の向上が図られ、60周年特別事業に向けて、気運を高められた。

参加者からも今後の事業や自分たちの活動に向けても参考になる知識やアイデアが詰まっていて参考になったとの声も多数頂いた。我々や若者のまちづくりに対しての更なる参画意識と協調意識の高揚に

繋げる事が出来たと感じる。事業に向けて一層の共感が得られたと感じた。

#### ( ) 懇親会

【内容】講演会で気運を高めた状態での懇親会で若者との名刺交換やアイスブレイクを行うことで、よりお互いの活動について活発に意見を言い合う場に、若者と共に共創するまちづくりの一体感を高める。

【考察】懇親会では意見が言いやすい雰囲気づくりを若者と相談して開催した。その中で事業内容の共有をした後、役割ごとにグループに分かれて多くの意見を頂いた。講演会で知識と意識の向上が図られた後に開催した事とそれぞれに役割を与えた事で責任感が生まれた。また自分たちの夢を思い描いていく場になる事業内容だったため、新たなアイデアや意見も出やすくなり、楽しんで取り組めたという声も頂いた。若者の意識の高揚に繋がり、今後の事業に向け更に意見が活発になっていくことが期待できた。

### ToyookaMiraiMarket

#### ( ) 出店(展)ブース

【内容】地域で活躍したいという若者が集い、豊岡やそれに関係する魅力の詰まったお店、コンテンツを集結させ、それぞれ魅力を発信し、来場した市民の方と繋がって頂き、事業後もそのお店やサービスをご利用してもらえ関係を作ってくださいました。食ブースでは13ブース、専門職大学ブースでは4ブース、キッズエリアでは5ブース、ものづくりエリアでは8ブース、特設ブースでは2ブース、全32ブースの知らなかったお店やサービスを知る事で今後は域内で消費してもらうきっかけに繋がりました。来場者が出店(展)者の頑張っている姿をみてまちづくりに対する参画意識の高揚が図れました。但馬ドームで市民が豊岡の明るい未来を思い描き、笑顔になることで持続可能な地域への第一歩となりました。

【考察】若者がそれぞれの自己実現に近づくための一助を果たす機会をブース出店(展)という形にした事や運営スタッフとして活動した事で参加者に若者の活躍を知ってもらうことが出来た。また多くの人と出会うや交流の場づくり、機会づくりを図ることが出来た。参加者からも地域で活躍されている若者が豊岡にたくさんいたとの声も頂き、若者の輝いている姿を多くの市民に知ってもらうことが出来た。参加者のまちづくりに対する意識の高揚を図ることが出来た。

#### ( ) ステージイベント

【内容】トークセッションでは来場者の方に分かりやすい様に、事業を行っている目的をテーマ「若者と共創するまちづくり」と題して、佐伯先生をコーディネーターとしてお招きして、パネリストに岡村将志(一般社団法人豊岡青年会議所 とよおかの未来創造委員会 委員長)、中村 貴大君(ToyookaMiraiMarket若者メンバーリーダー代表)、尾美 朱夏さん(ToyookaMiraiMarket専門職大学ブース企画代表)の3名に出演して頂いた。

地域の若者、専門職大学の学生、我々JCメンバーを交えてこれからの持続可能な明るい豊岡にむけて若者と共創してまちづくりをする事でまちづくりの参画意識の高揚を高め、今後のまちづくりにおいて、若者と共創してやっていくまちづくりが地域の発展にどのように繋がっていくのか。また本日のイベントはなんのために開催しているのか。このイベントをきっかけに今後どのように市民の意識改革が促され、どんな地域課題の解決に繋がっていくのかということ、まちづくりの専門の佐伯先生の実績と経験に基づきトークセッションしていただいた。

また、但馬地域で音楽やダンスで活躍されている方達をお招きして、ToyookaMiraiMarketの空間を楽しんで頂ける雰囲気を演出して頂き、芸術文化観光専門職大学の学生のダンスや演劇のパフォーマンスを演出して頂いた。テーマとして、「持続可能、地元愛、繋がり、明るい未来」をイメージしてもらい、但馬ドームに集まった市民が「やっぱり豊岡っていいな」「このまちが好き」と感じてもらいました。そこに集まった人たちが笑顔になって豊岡の明るい未来を思い描いてほしい。そんな豊岡がいつまでも続いてほしいという想いでステージイベントを開催した。

【考察】事業を開催する目的やこの事業が終わった後どんな豊岡のまちになっていけば持続可能な明るい豊岡になっていくかのトークセッションした事で来場者と関係者の方が事業当日、大いに触れ合う機会にする事が出来た。来場者と関係者のまちづくりに対する意識の高揚が図ることが出来た。一方で大きな会場で話している内容が聞き取れなかった等の声もあったため、今後は、録画して動画配信する等の工夫も必要だと感じた。

またアンケート結果より、但馬地域出身で活動されている方の音楽が聞けて良かった。会場の雰囲気が良

く豊岡の魅力を再発見できた。地域の人と大学生が繋がり、豊岡の新たな価値を感じる事が出来た等のお声を頂いた。今後の活動において地域の大人と大学生が出来る事を重ね合わせ、豊岡に新たな魅力と価値を生み出す事が出来るきっかけになったのではないかと考える。

#### (4) 結果

事業目的の達成を図るため以下の3点を指標とした

若者が積極的に行動し未来に希望を持つ

様々な世代との共創

市民が地域の魅力と価値を知り、内需が高まる豊岡にする

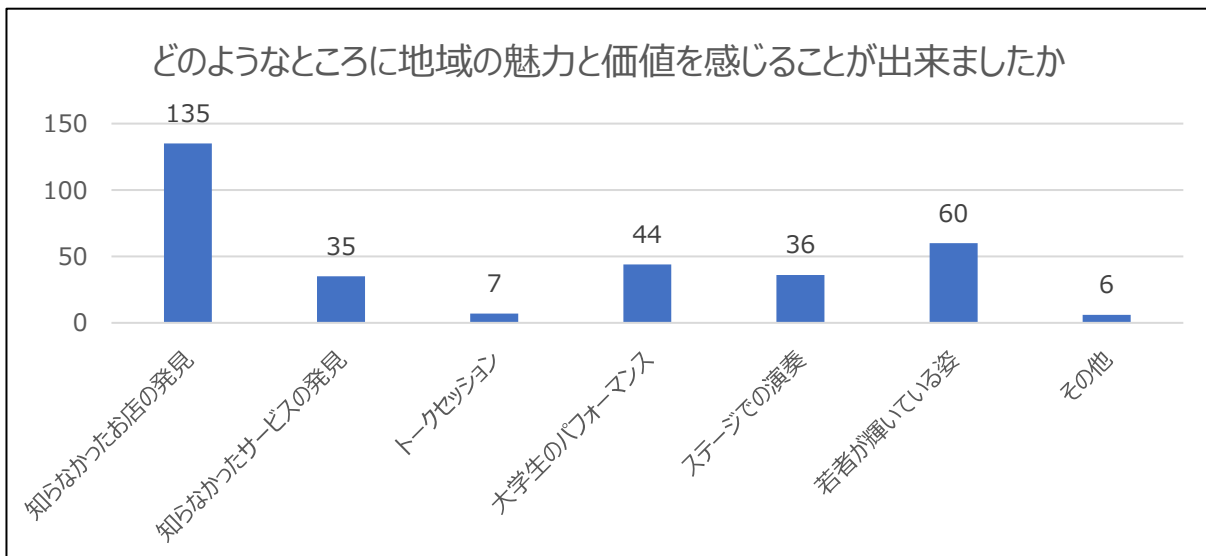
#### ( ) 若者が積極的に行動し未来に希望を持つ

下記図5の来場者に対するアンケート結果より、若者が輝いている姿や大学生のパフォーマンスやステージの演奏が来場者に地域の魅力と価値として感じて頂けた。結果、若者のやりたい事を形にした事が来場者の方に評価され笑顔溢れる豊岡に繋がった。

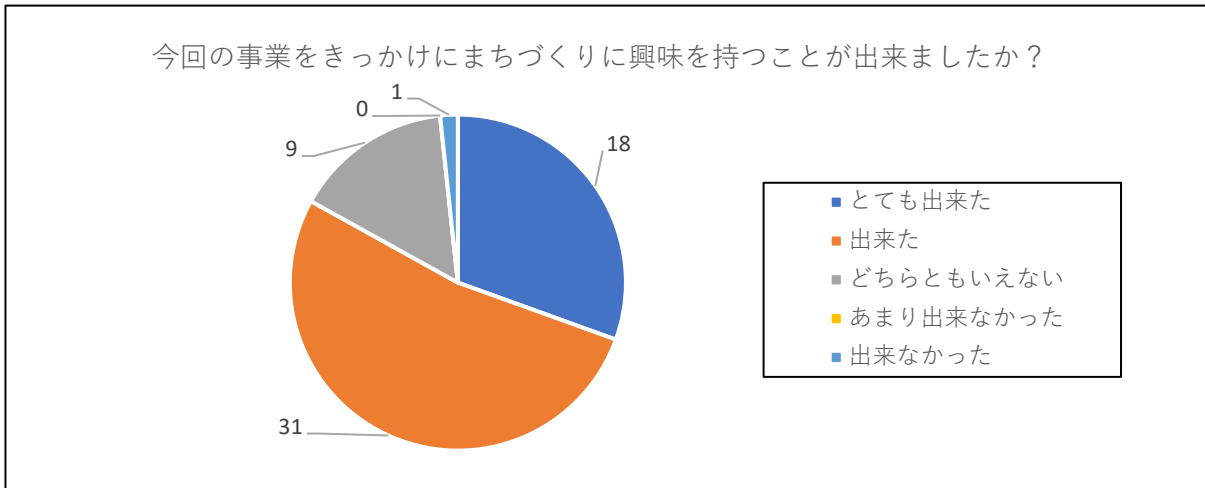
【考察】下記図6の関係者に対するアンケート結果では、80%を超える関係者が今回の事業を通じて、まちづくりに興味を持つことが出来たという意見が得られており、自分達がやりたい自己実現に近づくための一助を果たす機会の場に参加した事によってまちづくりへの参画意識の高揚に繋がったと言える。

この回答から感じたのは、若者が自己実現に近づくための一助を果たす機会の場を自分たちのアイデアで創出した事が多くの来場者の方へ地域の魅力と価値に繋がり、その結果まちづくりに対しての参画意識を持ってもらう事が出来た。今後1人でも多くの若者がまちづくりに対して積極的に行動し、活躍していく事が更なる地域の魅力と価値が生まれる場となり、更なるまちづくりに対する参画意識の高揚に繋がっていくのではないかと考えます。

【図5】(来場者に対するアンケート)



【図6】(関係者に関するアンケート)



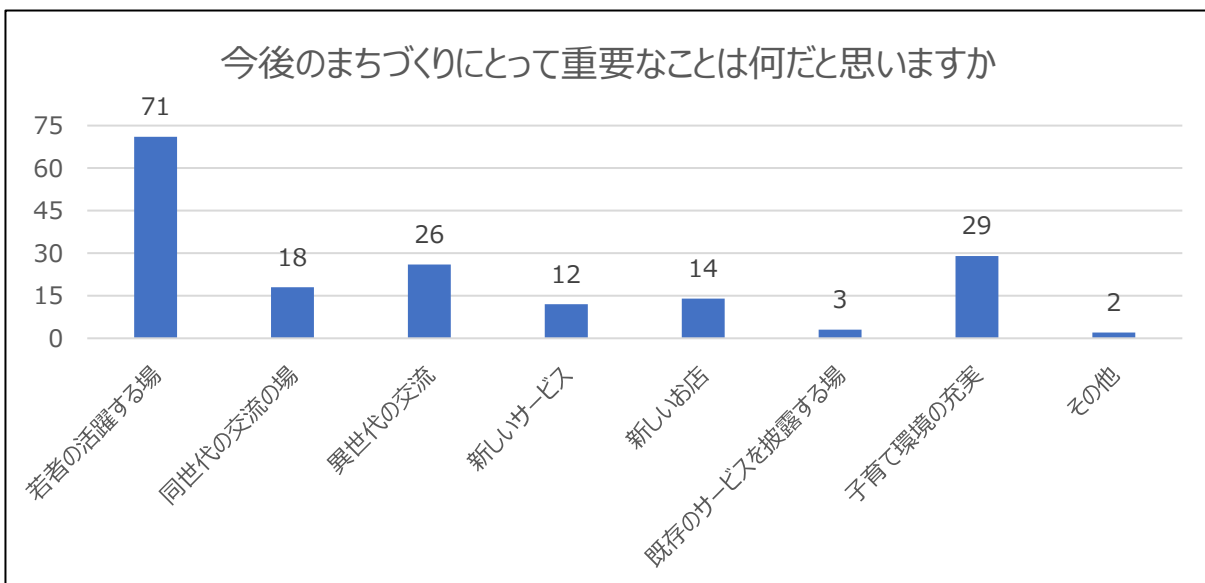
( ) 様々な世代との共創

下記図7の来場者に対するアンケート結果より、今後のまちづくりにとって重要な事は若者の活躍する場や同世代の交流の場、異世代の交流の場、子育て環境の充実に対する声が多かった。今回の事業の様に同世代の交流と異世代との交流による共創のまちづくりに取り組む事が豊岡の新たな魅力と価値の創造に繋がった。

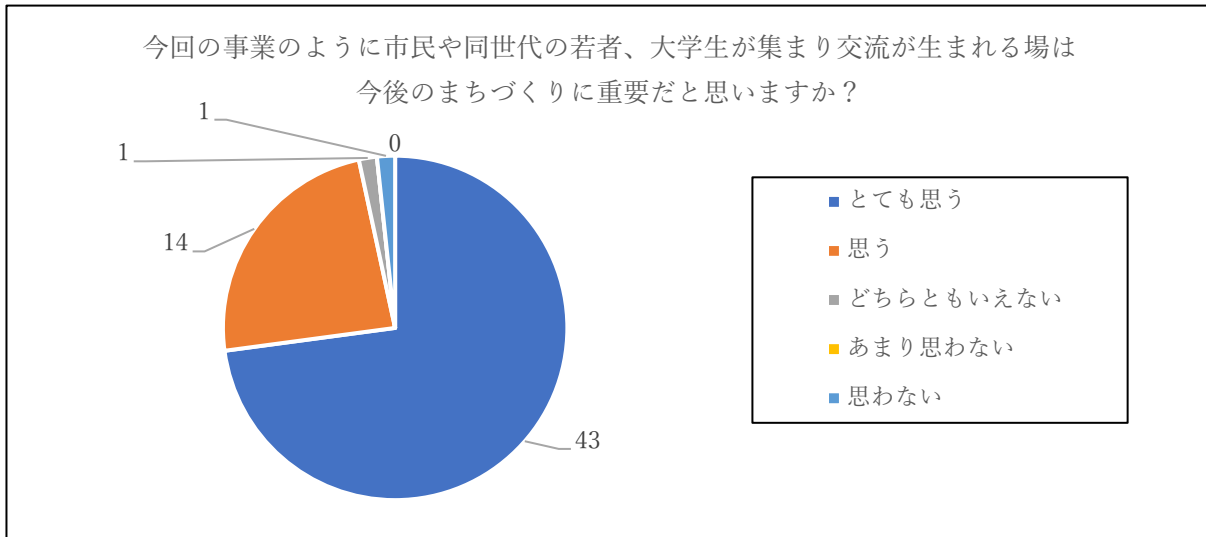
【考察】下記図8の関係者に対してのアンケート結果では、95%を超える関係者が今回の事業を通じて、同世代の若者や大学生が集まり交流が生まれる場は今後のまちづくりに重要だという意見が得られており、今回の事業の様に様々な世代が交流する事で新たなアイデアを創出することが出来、同じ目標に向かって協力する事で主体性を持って行動する事に繋がったと言える。

この回答から感じたのは、若者の活躍する場を様々な世代と共創した事で、人と人が出会い、繋がり、交流し、同じ目標に向かって取り組む事で様々なアイデアや意見が集まり、それを形にしていった事で地域に新たな魅力と価値が生まれまちづくりに対する協調意識と参画意識の高揚に繋がったと考える。

【図7】(来場者に対するアンケート)



【図8】(関係者に関するアンケート)

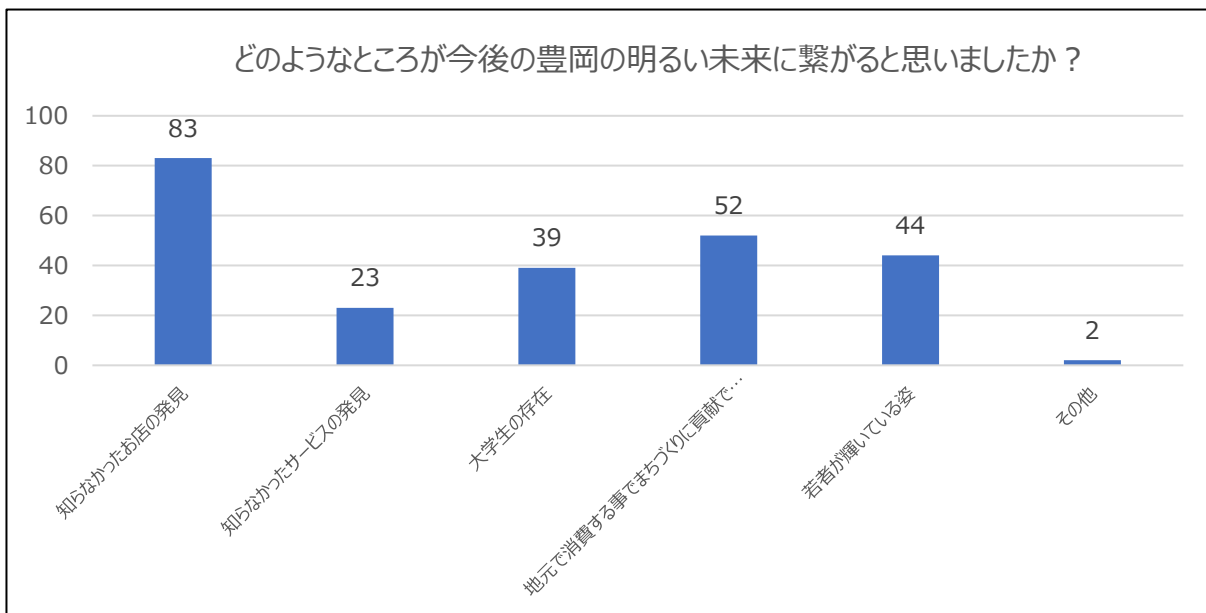


( )市民が地域の魅力と価値を知り、内需が高まる豊岡にするまちづくり

下記図9の来場者に対するアンケート結果より、今後の豊岡の明るい未来に繋がると思う事は、知らなかったお店の発見や地元で消費する事でまちづくりに貢献できるという回答を多く頂いた。来場者は市内在住の方が多かったが、地域の知らないお店の発見での回答が多かった事は、若者が営んでいるお店が多くの方に認知されていない事がわかった。

【考察】上記図8の関係者に対してのアンケート結果の理由として更に考えられる事として、様々な世代の交流から情報が増え、自分達が知らない魅力ある地域のお店やサービスの新たな発見に繋がり、それを表現する場を広く提供する事で多くの市民に知ってもらう機会に繋がったと言える。この回答から感じたのは、様々な世代が交流した事で、新たな情報の交換の場になり、若者が支持する地域のお店やサービスの発見に繋がり、今回の事業を通じて来場者に知ってもらい、繋がる事で地域への愛着や想いが生まれ、また行ってみたいという気持ちになってもらう事が出来たと考える。域内でお金を消費する事に繋がり、それを循環させていく事で経済活動を生む事に繋がっていくと考える

【図9】(来場者に対するアンケート)



## 【事業を終えての感想】

この事業では若者を中心とした様々な世代の人が集い、語り合い、議論し、共感し合える場をつくる中で、若者が日頃、自分自身や多世代、地域や社会についてどう感じ、考えているかを理解する場でもありました。その中で感じたことは、若者が活躍できる機会やチャンスが少ないという事でした。地域の若者には夢があります。多くの若者と交流する中で自分たちがやりたい事をやって地域で活躍している方も多くいます。しかし、その事を知っている人は少ないのが現状でした。理由は自分達がやっているお店やサービスを知ってもらう機会がないという事です。知ってもらう手段としてSNSの活用や口コミぐらいです。多くの方に知ってもらうためには宣伝や広告が必要になりますが多くのお金がかかります。そんな悩みを解消するために大人が若者に対して自己実現に近づくための一助を果たす機会の場を提供する社会づくりが必要だと考え、自分達の夢を思い描いていける場所が創出できる今回の事業を実施しました。

「ToyookaMiraiMarket」の事業で地域の若者が輝いている姿を多くの来場者の方に見てもらい、知ってもらった事で地域の若者が豊岡で自分たちの自己実現に近づくための一助を果たす機会に恵まれ、多くの方と交流する事で若者のまちづくりの参画に対する意識の向上に努めることが出来ました。地域と共創するイベントや事業があればそれを楽しんで取り組める環境があると思ってもらえるきっかけとなる事業になったと思います。今回の事業で知ってもらえたお店やサービスを市民が利用し地域にお金を落として内需を高め地域の活力が高まっていく事や若者が地域に定着する事に繋がれば幸いです。

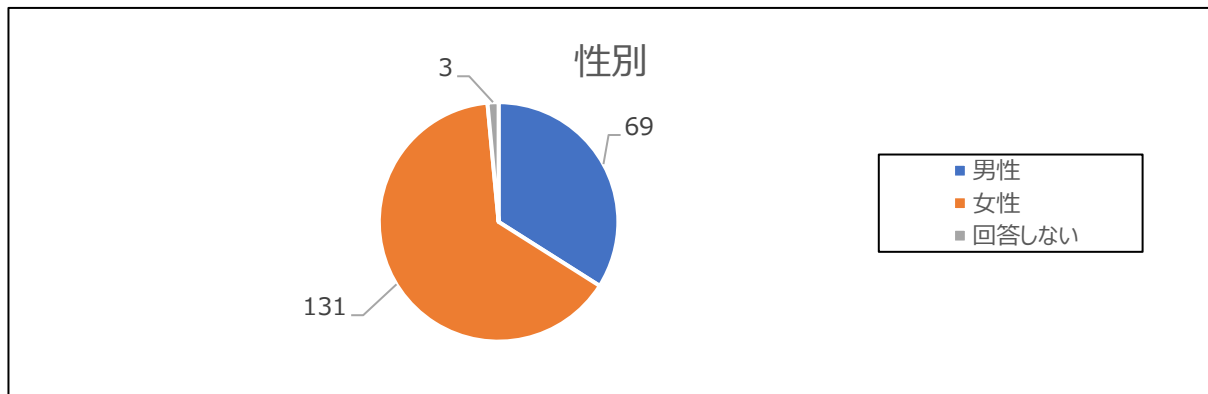
ToyookaMiraiMarketによる、来場者アンケートと関係者アンケートの結果は以下の通りであった。

ToyookaMiraiMarket来場者アンケート集計結果  
 回答数203件  
 対象者 来場者(市民)

【1】ご所属について教えてください。

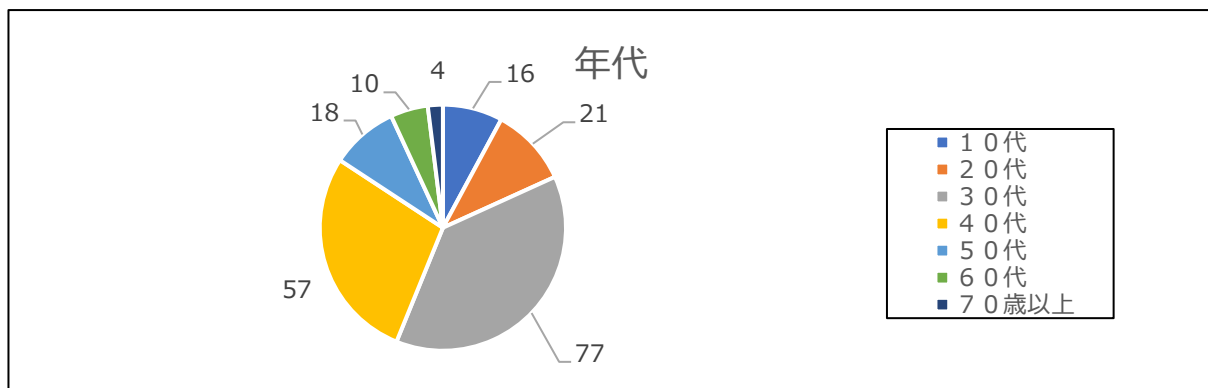
【性別】

男性	女性	回答しない
69	131	3



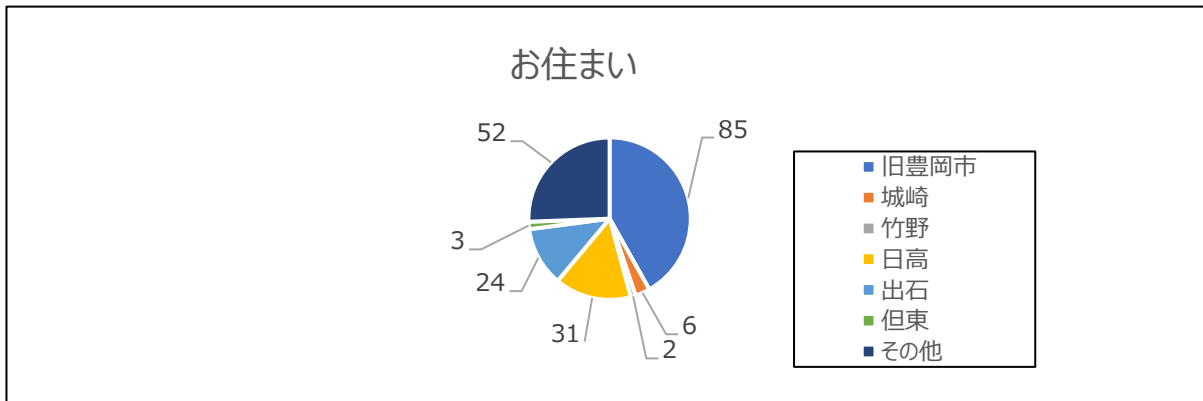
【年代】

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	回答しない
16	21	77	57	18	10	4	0



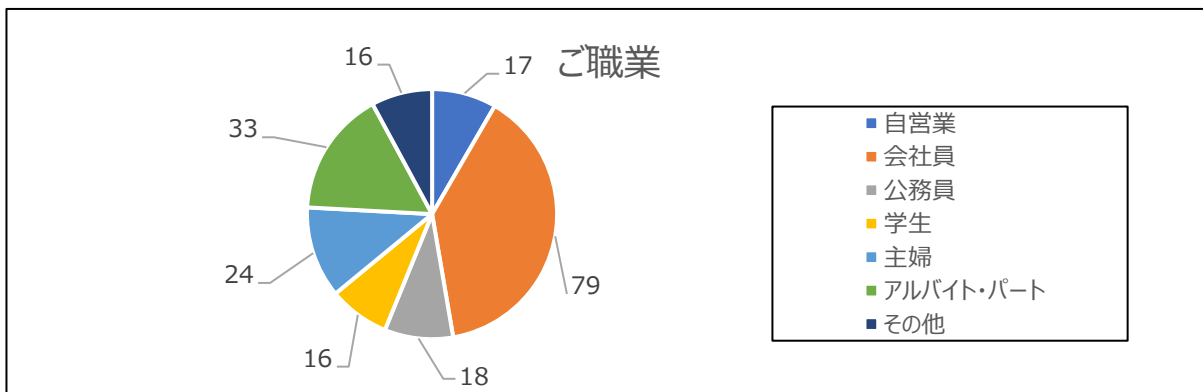
【お住まい】

旧豊岡市	城崎	竹野	日高	出石	但東	その他
85	6	2	31	24	3	52



【ご職業】

自営業	会社員	公務員	学生	主婦	アルバイト・パート	その他
17	79	18	16	24	33	16

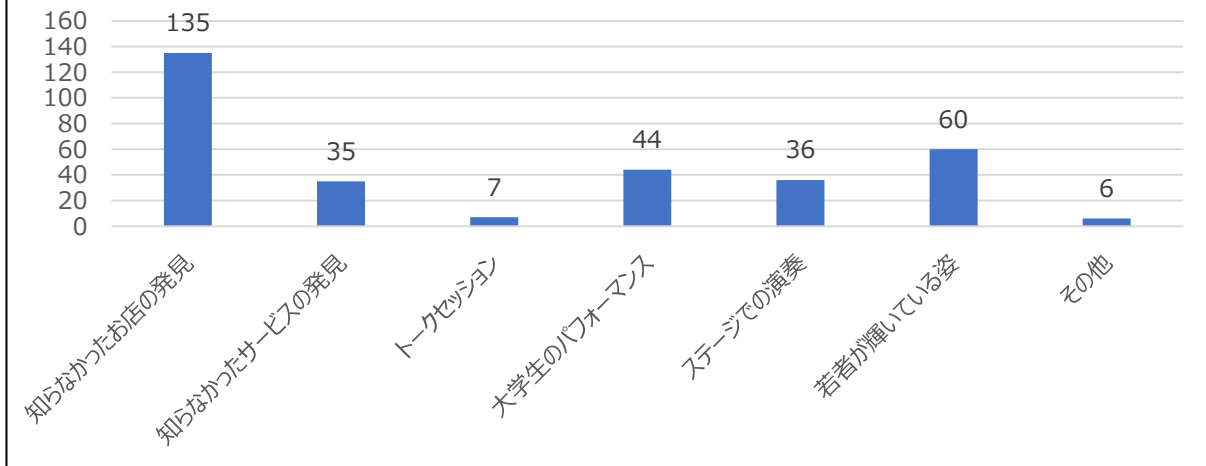


【2】今回、「Toyooka Mirai Market」に参加してどのようなところに地域のみましたか？(複数回答可)

知らなかったお店の発見	135
知らなかったサービスの発見	35
トークセッション	7
大学生のパフォーマンス	44
ステージでの演奏	36
若者が輝いている姿	60
その他	6



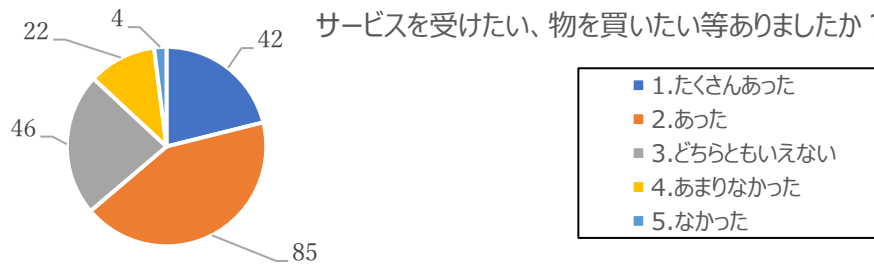
### どのようなところに地域の魅力と価値を感じることが出来ましたか



【3】今回、「Toyooka Mirai Market」を通してまた行ってみたい、見てみたい、食べに行ってみみたい、サービスを受けたい、物を買いたい等ありましたか？

たくさんあった	42
あった	85
どちらともいえない	46
あまりなかった	22
なかった	4

行ってみたい、見てみたい、食べに行ってみみたい、サービスを受けたい、物を買いたい等ありましたか？



【4】具体的にどこですか？(あなたのお考えをお聞かせください)

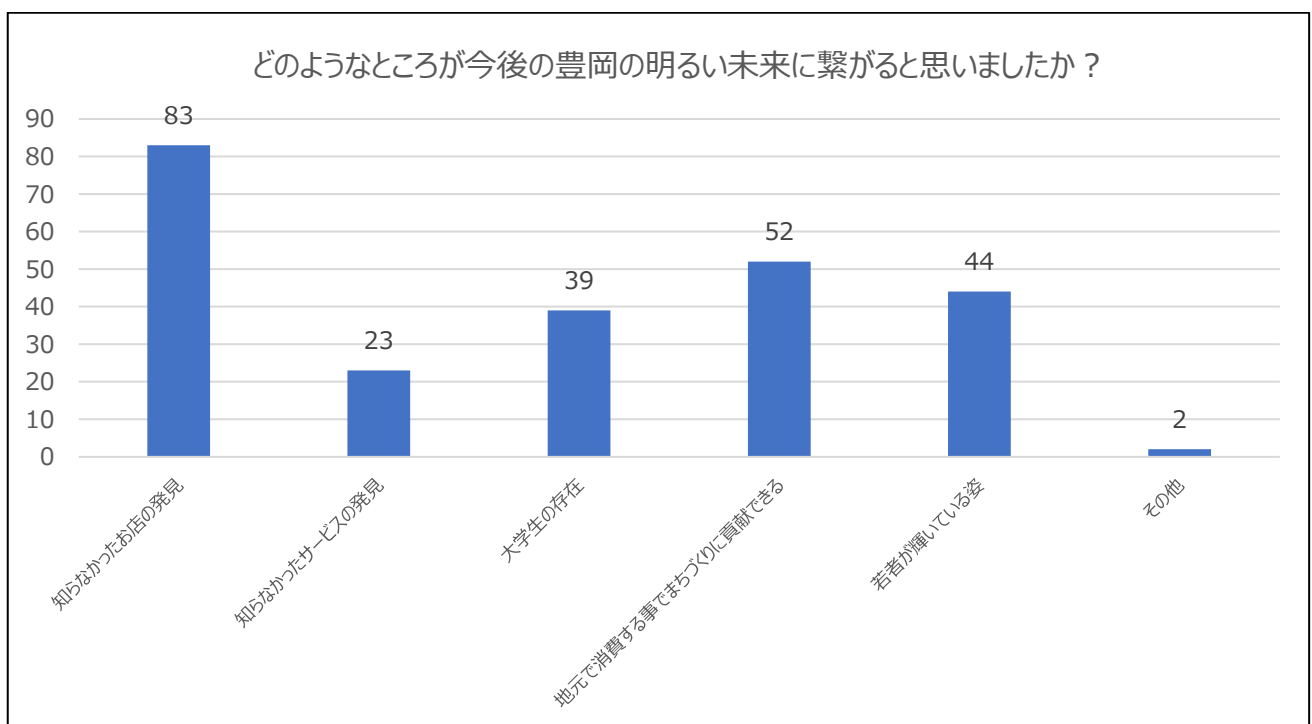
#### 【主な回答】

- ・Habit Kitchenの唐揚げ
- ・翁のたこ焼き
- ・もりめ食堂の「魯肉飯」「鶏肉飯」
- ・Rommyのシフォンケーキ
- ・Tanigakiの但馬鶏野菜盛り合わせ
- ・こうめやのパン
- ・ヒグラシ珈琲のコーヒー
- ・キノシタのレーズンバターサンド
- ・TERMEのカレー
- ・ハマダセイの缶詰各種
- ・かけはしブルーイングのクラフトビール

- ・ポルコロッソのピザ、ステーキ丼
- ・子供向けプログラミング教室
- ・謎解きゲーム
- ・但馬アスリートクラブのダッシュ
- ・Boulderplusのボルダリング
- ・walkfitのAINiによる姿勢解析、健康相談
- ・浮田幸栄堂のリングノート
- ・Libraのガラス作品
- ・Michelloofのアクセサリー
- ・Leathercraftの革製品作り
- ・湖月堂の和菓子
- ・Veggiede+の野菜販売、トマト
- ・たじマートの販売
- ・えびすやの観葉植物、ドライフラワー
- ・おむすびの会
- ・PersonalGymCREVAS
- ・芸術文化専門職大学
- ・ひぽっこダンス

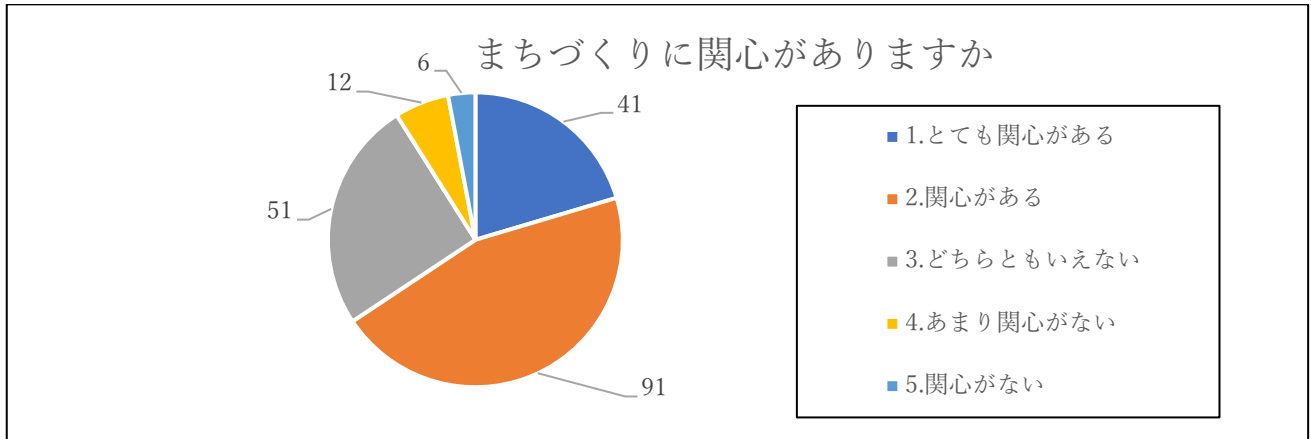
【5】ToyookaMiraiMarketに参加してどのようなところが今後の豊岡の明るい未来に繋がると感じましたか？

知らなかったお店の発見	83
知らなかったサービスの発見	23
大学生の存在	39
地元で消費する事でまちづくりに貢献できる	52
若者が輝いている姿	44
その他	2



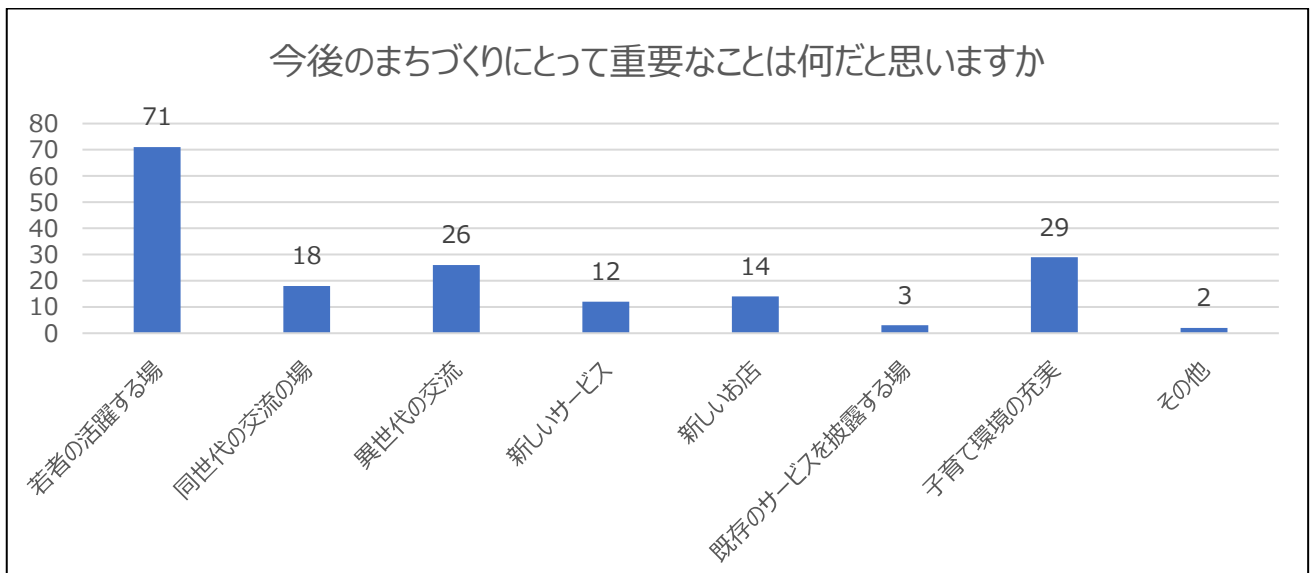
【6】まちづくりに関心がありますか？

とても関心がある	41
関心がある	91
どちらともいえない	51
あまり関心がない	12
関心がない	6



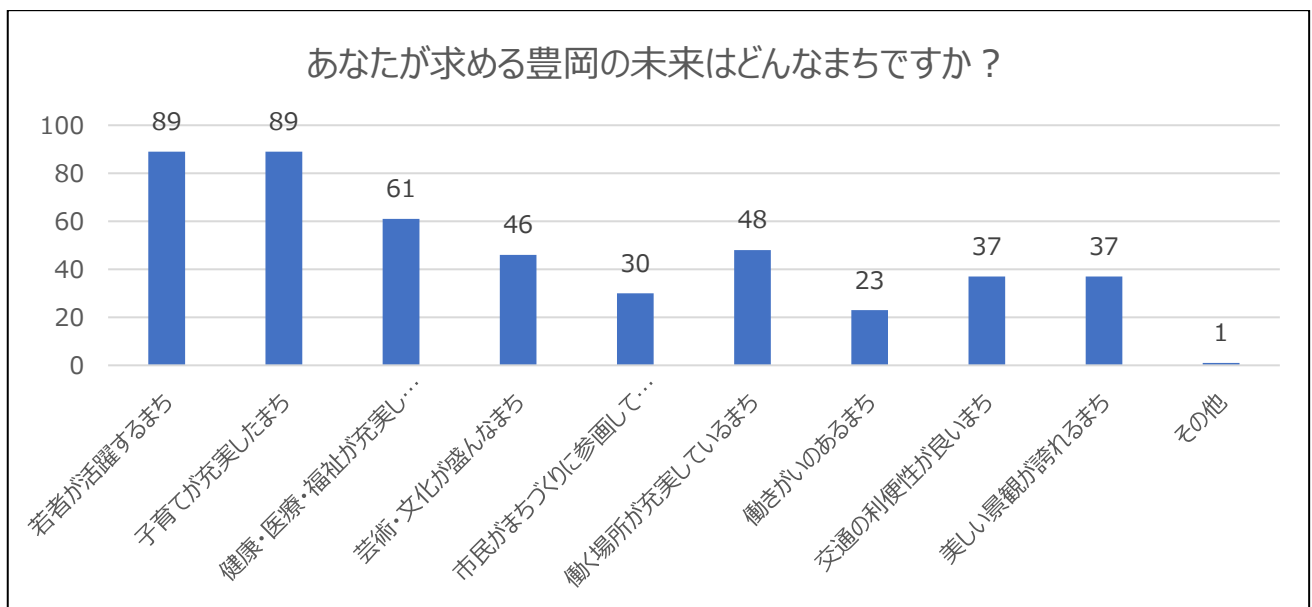
【7】今後のまちづくりにとって重要なことは何だと思えますか？

若者の活躍する場	71
同世代の交流の場	18
異世代の交流	26
新しいサービス	12
新しいお店	14
既存のサービスを披露する場	3
子育て環境の充実	29
その他	2



【 8 】あなたが求める豊岡の未来はどんなまちですか？(複数回答可)

若者が活躍するまち	89
子育てが充実したまち	89
健康・医療・福祉が充実したまち	61
芸術・文化が盛んなまち	46
市民がまちづくりに参画しているまち	30
働く場所が充実しているまち	48
働きがいのあるまち	23
交通の利便性が良いまち	37
美しい景観が誇れるまち	37
その他	1



関係者アンケート集計結果 回答数59件  
対象者 若者、大学生、出店(展)者、出演者

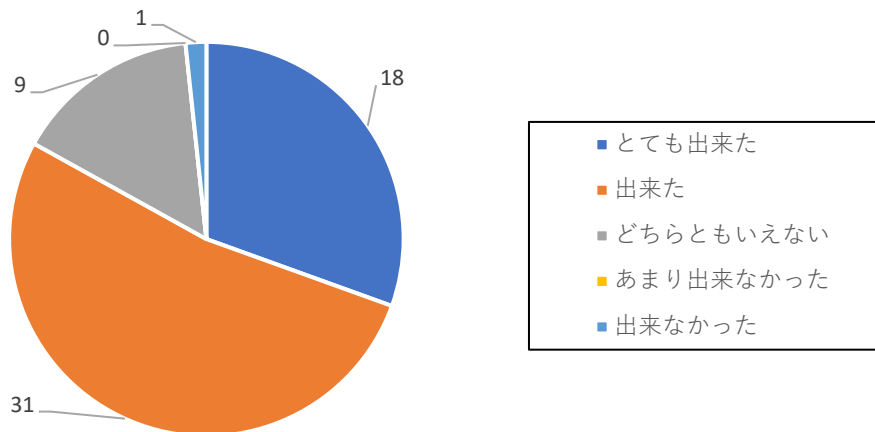
【 1 】お名前について教えてください。

今回の事業に関してお答えください。

【 2 】今回の事業をきっかけにまちづくりに興味を持つことが出来ましたか？

とても出来た	18
出来た	31
どちらともいえない	9
あまり出来なかった	0
出来なかった	1

今回の事業をきっかけにまちづくりに興味を持つことが出来ましたか？



【3】【2】で選択した理由はなぜですか？

【主な回答】

○若者

- ・自分達が企画したことでたくさんの人が喜んでくれたり、話を出来たりって言うのは貴重な体験だったから。
- ・色々な人と知り合い人脈や可能性が広がったから。
- ・事業構築がいいバランスで団結できつつ大学生や関係者の方との多様性も感じ、素晴らしいと思ったから。
- ・まちづくりを通して、関わっている同世代や多世代の方の意見やアイデア、活力から刺激を受けたから。

○大学生

- ・これまで知らなかった街のお店や活動を知ることが出来たから。
- ・若者が創出した「イベント」に多くの来場者が来て地域の若者の力を実感したから。
- ・この先さまざまな方法で今回の事業形態を応用した形でのまちづくりイベントが開催可能なのではないかと感じ、まちづくりに対する興味もより一層深まったから。
- ・コロナ渦ではありましたが、人が集まる場所や機会を増やすことで町が元気付くことを感じたから。

○出店(展)者、出演者

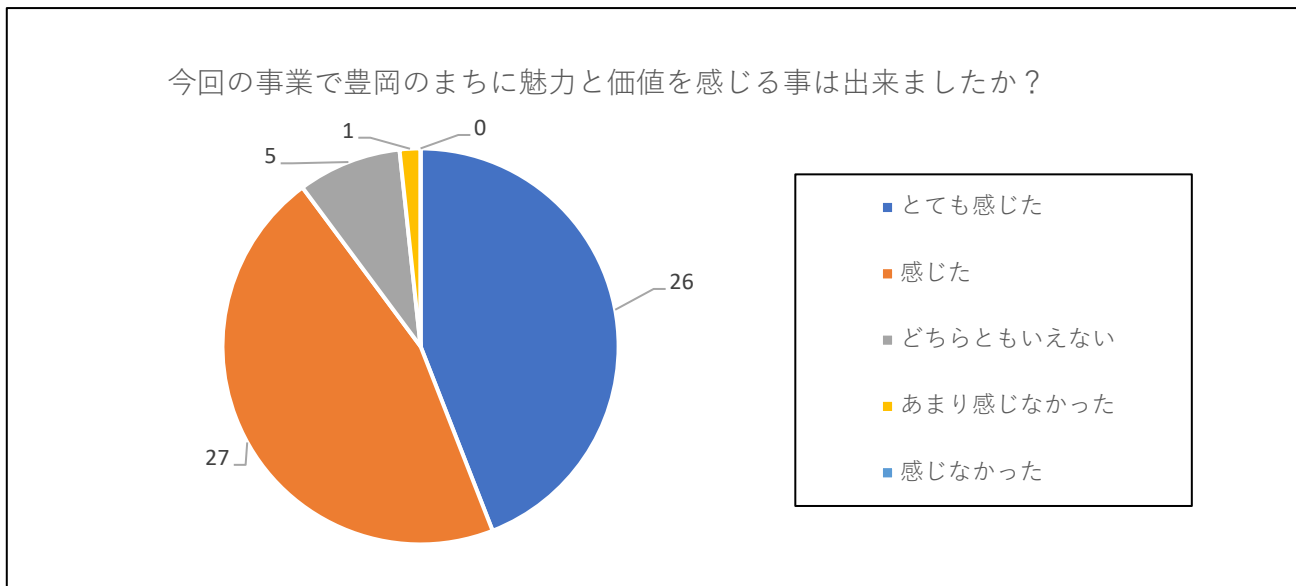
- ・若い人たちが積極的に活動している姿を見て地域の魅力と価値に気づき、新たな可能性を感じることが出来たから。
- ・色々な方との出会いや繋がり、地域活性化で意欲的な人の話が聞けて刺激を受けたから。
- ・子育て活動の理念に、『地域社会みんなで子育てをする』という思いがありましたが、今回のブース出店で多くの方に来ていただいたことで、その思いが目の前で実現しているのを感じたから。

○どちらともいえない回答

- ・まちづくりというより地域のビジネスをどう盛り上げていくかの方が強かったため。(若者)
- ・地域の方との交流を深めるまでに至る余裕がなかった。(大学生)
- ・まちづくりが主題だったのかと言われるとよく分からなかった。(出展者、出演者)

【4】今回の事業で豊岡のまちに魅力と価値を感じる事は出来ましたか？

とても感じた	26
感じた	27
どちらともいえない	5
あまり感じなかった	1
感じなかった	0



【5】【4】で と を選択した理由はなぜですか？

【主な回答】

○若者

- ・初めての多世代とのまちづくりでみんなが協力して一致団結して取り組めた事が素晴らしいと感じたから。
- ・コロナ禍でも、チャレンジしてやり遂げる事が出来た。来場者もみんなが笑顔になって、明るい未来を感じる事が出来たから。
- ・主体性を持って取り組む若者が多かったから。
- ・専門職大学の学生の新しい力を感じる事が出来たから。

○大学生

- ・参加されていた魅力的な飲食店、雑貨店さんは勿論、地域、または近隣地域を拠点に活動されている、アーティストの方々を知る事が出来たから。
- ・イベントに集まってくださった地域の方々の姿を見て、「豊岡」というまちが持つ潜在的な「活力」という魅力を再度感じる事が出来たから。
- ・地域の方々があれほどまでにまちのイベントに興味を持ち、楽しんでいる、まちづくりに協力的であるから。
- ・紙屋さんやお菓子屋さんなど昔からの伝統を守っていらっしゃる方とボルダリングやカフェなど新しいことをしようとしていらっしゃる方が、一堂に集まってイベントができる程の各出店者さんたちのエネルギーと運営のあり方が素晴らしいなと思ったから。

○出店(展)者、出演者

- ・元々魅力的で価値がある街だと思いますが、外を知ったうえで頑張ってもらっている人が多いと感じました。安易に都会の真似をしない、明るい未来がイメージ出来たから。

- ・若者がやっている、支持している知らないお店がたくさん知れた。地域で活躍している若者や学生の輝く姿を見る事が出来たから。
- ・MCとして全体を見させていただいた時にJ Cの皆様や出店者さんの元気な表情がよかった。来場者がコロナ禍での久々のイベントで普段より楽しもうとする気持ちが強く感じたから。
- ・面白い事業者さん、それを手伝う学生、それを繋いでくれた方がいて、イベントを通してそれぞれのコンテンツを、来場者に楽しんでもらえていると感じたから。
- ・イベント出店に際し、多世代のあらゆるジャンルの方が協力していただき、未来への希望を感じたから。このご時世に、イベントを開催した主催者の勇気と希望に励まされたから。

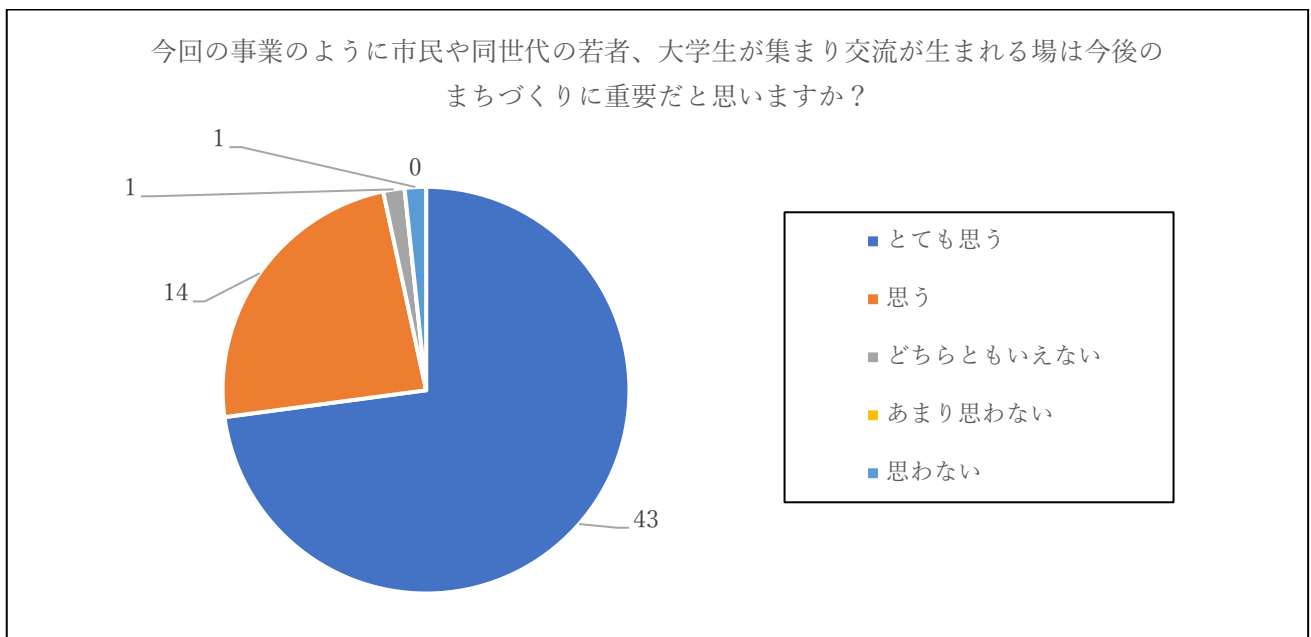
【6】【5】で ~ を回答された方はどんな魅力と価値なら感じる事が出来ましたか？

【主な回答】

- ・コロナ禍で色々制限がかかる中での開催であったため、まだまだ伸び代があるなと感じました。(若者)
- ・もっと多様な業種が増えてほしい。20代・30代の起業支援が必要(若者)
- ・参加されている事業者の方は熱い方が多く、もう少しそんな方たちが多くいてくださればいいなと思いました。(出店者、出演者)
- ・地元を良くしたいと思っているパワーのある方が多数いるということを感じました。(大学生)

【7】今回の事業のように市民や同世代の若者、大学生が集まり交流が生まれる場は今後のまちづくりに重要だと思いますか？

とても思う	43
思う	14
どちらともいえない	1
あまり思わない	0
思わない	1



【 8】【 7】で と を選択した理由はなぜですか？

【主な回答】

○若者

- ・各団体や市民がまちづくりという 1 つの目的に向かって取り組む姿はまちにとって活気があり出会いや繋がりが出来るから。
- ・これからの中心になっていく若者世代が盛り上げていかないといけない。また、自己実現を果たす表現する場が少なくなった今だからこそ、そういった場を作ることが必要だと思うから。
- ・広告として譲歩を受け取るだけでなく、体験して、話して、実際に交流することで、業種や世代を超えて価値を理解しあえると思うから。

○大学生

- ・コロナ禍で出会いや、繋がりがなくなっているから。
- ・若い人が地域の人と触れることで地域への愛や想いを感じて、より長い間、次の世代まで地域の想いを繋げていくことが出来るから。
- ・地域住民間での交流が生まれることにより、新たな価値観や発想、事業アイデアの創造に繋がるきっかけづくりをすることが出来るから。
- ・同、異世代間、様々な立場の地域住民との交流の場が持たれることで、寛容性や社会的包摂を涵養していくことができると考えるから。
- ・市民のまちづくりへの意識の高揚や、共有の場に繋がると思うから。
- ・人と人が出会うことはとても素敵だし、それによって新しい何かが生み出されることにも繋がるから。

○出店(展)者、出演者

- ・若さならではのアイデアやパワーが必要だから。
- ・横や縦の繋がりができて、その中から様々な意見が出て新たな活動が生まれると思うから。
- ・様々な年代、特に若い世代の意見が反映されることが、今後の豊岡に強い影響を与えるから

【 9】【 7】で と を選択された方は、今後のまちづくりに重要な事は何だと思えますか？(あなたのお考えをお聞かせください)

- ・この事業のような場がなければ交流出来ないようなまちはダメ。この若者達は 10 年後若者ではなくなる事は理解しておこう。(出展者、出演者)

【 10】若者が自己実現する機会を共創するまちづくり事業があれば今後も参加したいと思いますか？

とても思う	30
思う	23
どちらともいえない	5
あまり思わない	0
思わない	1

【 11】【 10】で ~ を回答された方は、なぜそう思われましたか？(あなたのお考えをお聞かせください)

【主な回答】

○若者

- ・若い世代がまちづくりへ参画するためのきっかけとして、若い世代の意見を取り入れる環境づくりが必要だから。



- ・自己実現を果たす機会の場で自分たちの活動を広く知らせることが出来るから。
- ・まちづくりをきっかけに多様な人との出会いや繋がりを大切にしたいから。
- ・まちづくりに関心を持ち、同じような問題意識を持っている同世代と出会えるから
- ・今回の企画を通してみんなでまちのことを考えてクリエイションすることがとても楽しいと思ったから。

#### ○大学生

- ・まちづくりに参画する事で大学での学びや活動をより深く理解することができるから。
- ・地域の若者に活力や地域に対する興味があってこそ、持続可能な地域社会が構成されると思うから。
- ・若者の自由な感性をまちづくりに活かす機会の場があるなら積極的に参加し、若者自身の発想、企画構想における自己肯定感を養い、人材育成の場に立ち合いたいと思うから。
- ・自分自身も地域の若者の自己実現の助けになるような活動がしたいと思うから。
- ・若者、特に我々のような他の地域から来た大学生には、地域との強い繋がりが無く、自己実現を果たす機会の場が少ないから。

#### ○出店(展)者、出演者

- ・若者のパワーを地域にどんどん発信してほしいから。
- ・若者だけでなく、新規事業等、金銭面でも、コネクション面でも弱い部分があるから。
- ・地域の方に自分の活動を体験していただける場があれば、百聞は一見にしかず。であり、多くの方に知ってもらえる事が出来て、伝える伝わる効果がとても大きいから。
- ・積極的にまちづくりに参加することで、自分たちで楽しい未来は創れるのだと、その姿を子供達に見せていきたいから。

【12】【10】で ~ を回答された方は、どんな事業であれば今後も参加したいですか？

- ・自分で主催開催したい(若者)
- ・事業の準備・運営に費用がかかるので資金援助がある事業(若者)
- ・Toyooka Mirai Marketのようなイベントはとても良いと思います。もう少し出店店舗が多かったらもっと良かったかなと思う。(大学生)
- ・豊岡市に住む人と関われる、交流するきっかけになるような事業(大学生)

【13】まちづくりにおいて自分が今後したい事は何ですか？(あなたのお考えをお聞かせください)

#### 【主な回答】

#### ○若者

- ・今の職を活かす魅力作り、その魅力を伝えることをしていきたい。周りを巻き込んで楽しくできたらいいと思う。
- ・若者の考え、意見が反映されるまちづくり事業
- ・10年後に繋がる、老若男女地域みんなで楽しむまちづくり
- ・子供と高齢者の交流事業。
- ・地域住民と外部から来た人との交流の場を作りたい。
- ・地元の魅力を地元の方にこそ気づいてもらう事
- ・クラウドファンディングなどで何か協力する企画など

#### ○大学生

- ・交流の中で豊かさが生まれるということについて考えてみたい。
- ・食または風景と演劇が融合した芸術観光事業。
- ・音楽、演劇などの文化の発展。また、そうした文化を通じた地域との交流。
- ・観光と芸術を結びつけ、豊岡にしかない魅力を見出したい。
- ・中高生と一緒に何かワークショップなどをしてみたい。

- ・リフレッシュの選択肢として舞台芸術を広めて、舞台芸術で癒される経験を多くの人にしてみたい、人々の生活を豊かにしたい
- ・できることは出来る限りしたい(アート関連のこと、イベントの企画、イベントへの参加、イベントへの補助、アンケートや地域の方とのお話、地域調査、観光客や住民のニーズを分析など)

#### ○出店(展)者、出演者

- ・地域の若者や大学生でまた「Toyooka Mirai Market」の様な地域イベントをやってほしい。
- ・子供達が好きになるまちづくり。子供達が、喜びをもって過ごせるまちづくり。(ダンスを通して)
- ・社会全体で子供を育てていけるまちづくり。お母さんは一人で頑張るのではなく、周りに頼ることで心に余裕を持って欲しい。ちょっとした余裕で、お母さんが子育てを楽しみながら、自分の人生も楽しめる、そんなお母さんの姿が増えると、きっと子どもたちも未来が楽しみになるのでは。そういった思いから、お母さんがホッとひと息つける居場所づくり、親も子供も安心して過ごせる見守りの環境づくり、お母さんたちが共同創造していける環境づくり。
- ・自分が自分のしたい事をきちんと考えて、空き家を自分の手でそれに合うように改装し住み、それをひとつのモデルプランとして街の人や移住者に提案したい。
- ・花を使ったまちづくり
- ・福祉の充実、若者にとって自分の生まれ育った地域が誇りあるものだという認識を持ってもらうための価値創造や発掘
- ・学生との共同事業

【14】【13】で回答されたあなたがしたい事は今後、持続可能なまちにどう繋がっていくと思いますか？

#### 【主な回答】

#### ○若者

- ・若者に選ばれるまちに繋がる。
- ・若い世代での交流が増え、多様な考えに触れられる。
- ・観光、経済、環境など多面的に繋がる。
- ・経済効果の発展や、地域ブランドの向上に繋がると思う。
- ・事業所・事業者が増えることで税収増、空き物件活用、人口増に繋がっていく。
- ・地域の人に参加してその中でコミュニケーションを通じて、自分のまちの姿をつくっていくことが地域コミュニティの力となっていくと思う。

#### ○大学生

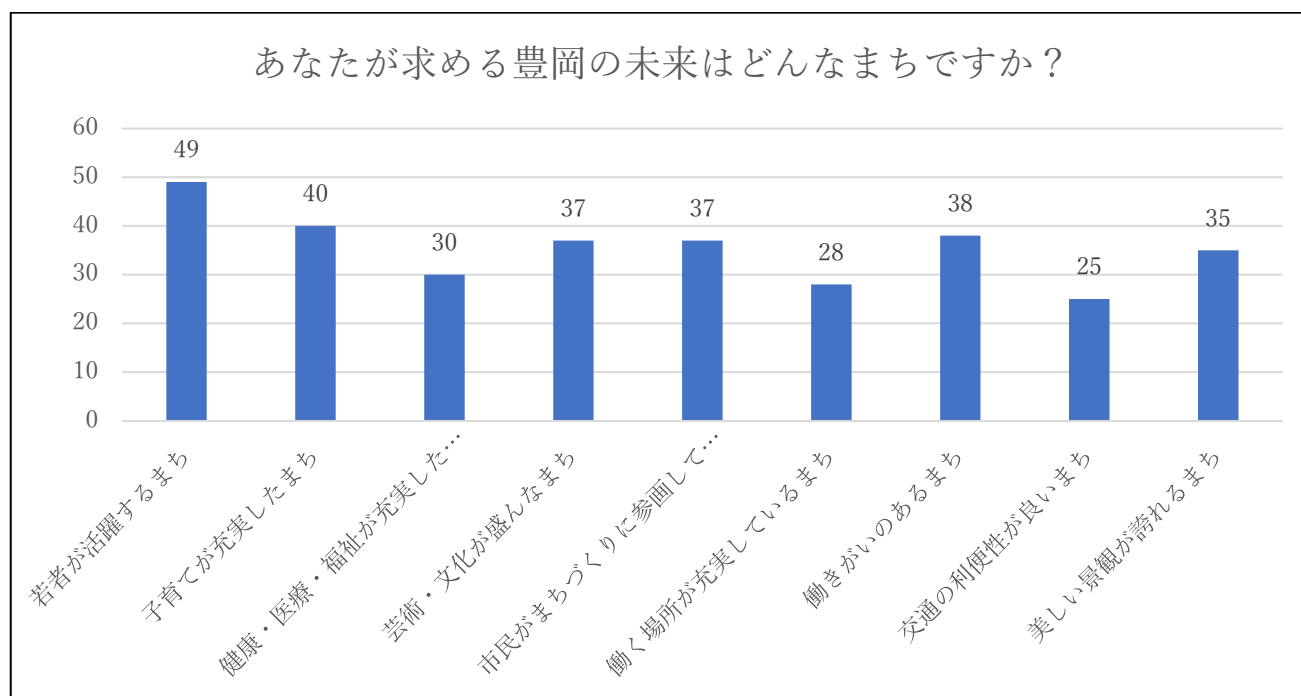
- ・演劇のまちをつくることで、文化的、社会的にヒントに溢れるまちになり、また独自性のあるまちとして若い人がまちを想うきっかけになり、寄り良いまちづくりに活発になっていく。
- ・地域内部だけでは気づかなかった新たな魅力を発見する機会を得ることで、意識して取り零すことなく地域資源を守っていくことができ、結果的に持続可能なまちにも繋がっていく。
- ・地域内部だけでなく、外部とも交流が生まれることで、想像力や発想力の母数が増え、地域の可能性をより存分にアピールし、存続させることが可能になると考えます。
- ・まちの活性化、住民の意識の変化・統一、各イベントの認知、移住者や定住者の増加
- ・文化はその土地の歴史に強く結びつくと考えているので、地域と我々大学生が文化を通して交流することで、より強いつながりを生み、交流が長く続くことでまた新たな文化や経済の発展に繋がっていくと思う。
- ・芸術によって人が自然と集まる様になって文化的に持続可能なまちになっていく。
- ・移住してくる方と、定住している方が両極的に生活している豊岡市において、両極の交流の機会を作る事は市民館で起こるフラストレーションなどの解消にもつながり、街全体のモチベーションにも繋がると思うため。

○出店(展)者、出演者

- ・自分の住んでいる地域に魅力を感じることは、将来的に人口の流出を減らすことに繋がり、地元の方の輝きこそが移住者に対するいいアピールになると思います。
- ・お母さんが、子育ても自分の人生も楽しんでいる姿を見た子供達は、きっと楽しい未来を創造できるはず。どの女性も必ず通るだろう妊娠出産という分岐点において、子育てか、仕事かという極端な選択ではなく、周りに頼りながら、しなやかに人生を選択していけるのではと考えます。女性が妊娠出産するというのは、そもそも人類が持続していくベースにあるものなので、今の私たちの姿そのものが、持続可能なまちづくりに繋がると感じています。
- ・景観も綺麗になり、花を通してコミュニティも広がり人も育てることに繋がる。
- ・持続可能なポイントは、安定した収入・所得が有ることだと思います。(高い低いは個人の価値観がありますが)そういう意味で働く環境は大切になってくる。
- ・利用する人の目的に合っていてきちんと機能する家やお店が増えればまちが活気づくのではないかと思う。
- ・スポーツの場で但馬地域をアピールしていきたい。但馬地域について興味を持ってもらえるきっかけづくりにしたい。

【15】あなたが求める豊岡の未来はどんなまちですか？(複数回答可)

若者が活躍するまち	49
子育てが充実したまち	40
健康・医療・福祉が充実したまち	30
芸術・文化が盛んなまち	37
市民がまちづくりに参画しているまち	37
働く場所が充実しているまち	28
働きがいのあるまち	38
交通の利便性が良いまち	25
美しい景観が誇れるまち	35



## 第4章 未来へ向けての提言

笑顔溢れる持続可能なまち豊岡を実現するために大切な事は、若者が主体となってまちづくりに対する意識改革に努めるべきだと考えます。

例えば新潟県燕市では若者会議によるまちづくりに取り組んでいます。地域の若者が集い、理想とする燕市の未来を実現するアイデアを考える等、若者のまちづくりの意識の醸成が図られています。

今回の事業で様々なステークホルダーの方と構築していく中で感じた事は、周りの協力してもらう方のおかげで実現出来ている事に感謝の気持ちを持ちながら、自分たちが将来を担う子供に向けて、夢を与えるよう行動する意識を持つ事が今後の持続可能なまちづくりに必要だと感じました。その意識で取り組む若者が1人でも多く増え、様々な世代と共に共創するまちづくりをする事で交流する人達と協調意識・参画意識を更に高めることで持続可能なまちづくりに繋がると考えます。そして、今後の持続可能なまちづくりでは都会にだって負けない仕事やサービス、豊岡だからこそ出来る仕事を様々なステークホルダーと共に共創するまちづくりをする事で、自分達が夢を持って取り組んでやっている仕事や活躍できる場を知ってもらう事でより持続可能なまちづくりになっていくと考えます。

## 第5章 おわりに

今、全国の各地域では、少子高齢化、人口減少など、課題が山積し、解決できずにいます。この豊岡の地も同様です。2040年までの豊岡市の人口減少は、さらなる少子高齢化を伴いながら進行することから、豊岡市はコミュニティの崩壊・消滅、公共交通網の崩壊、地域経済の衰退、財政悪化に伴う行政サービスの低下、医療・介護などの社会保障費の増大等、深刻な打撃を受けることとなります。しかし、今回の事業において我々と地域の若者、専門職大学生、出展者様、出演者様、但馬地域で活動している多くの方々とお会いし、繋がり、交流することによってまちづくりに対する意識の高揚と持続可能な豊岡の明るい未来を思い描いていける可能性を感じました。

今後、市民がこの事業で知った出展者から物を購入したり、サービスを受けてもらう事で、まちが活性化し、内需が高まる豊岡になる事を望んでいます。また積極的にまちづくりに行動し参画する人が1人でも多くなることを望みます。そして、このさきさらに持続可能なまちづくりをする上で重要なことは、まちづくりに対して若者が積極的に行動しつづけて、様々な世代の色々な分野の人達と交流をする事で新しい魅力と価値をつくり続ける事が大切だと感じました。

例えば今回の事業のように若者と青年会議所、行政、専門職大学生、地域で活躍している出展者、出演者、各関係各所の方達と1つの事業に向かって協力していただけたからこそ、人と人との交流が生まれ、事業アイデアの創造に繋がり、素晴らしい事業にすることができました。

また若者が自分たちの自己実現に近づくための一助を果たす機会をブース出店(展)やパフォーマンスという形で創出して頂いた事で、若者のまちづくりに対する参画意識と協調意識の高揚に繋げることが出来ました。

今回出合い事業構築に関わって頂いた佐伯先生、地域の若者の皆様、専門職大学生の皆様、関係者の皆様、来場者の皆様とのご縁を活かし、まちづくりを行っていくことが我々の事業に協力して頂いた方々に対する感謝になるのではと思います。最後に、今回の調査研究にあたり多くの方々のご協力を頂きましたことに対し心から深く感謝申し上げます。

2021年度 一般社団法人豊岡青年会議所  
とよおかの未来創造委員会  
委員長 岡村 将志  
副委員長 早川 陽祐  
委員 中村 勇太  
担当副理事長 大友 孝